

2026 年度 デザイン・アート学部「学生の学びと成長支援奨学金」運営方針

立命館大学では、みなさんが安心して学生生活を送り、一人ひとりの学習・学生生活の目標にチャレンジできるように支援する独自の奨学金システムを持っています。

正課・課外自主活動を問わず、キャンパス内外で行われる学生の多様な学びを学修と位置づけ、学生が主体的・能動的に学び、成長する機会を応援します。

デザイン・アート学部では以下の各種支援制度を設けています。いずれも詳細は募集要項などで確認してください。

・西園寺記念奨学金（成績優秀者枠）

デザイン・アート学部での正課の学修において努力し、学士の学位を得るための教育課程において優秀な成績をおさめ、本大学における学びと成長の模範となる学生を励ます奨学金です。

・+R 学部奨学金

本学部における正課の学修課程では、人材育成目的 およびディプロマ・ポリシーの達成を目標とし、その成果を評価しています。しかし、その到達に至るまでには、既存の方法が通じず、考えや表現を組み替え、制作や実践をやり直す局面が生じます。そこでは、当初意図した結果や周囲の反応が想定と異なることも含め、試行錯誤や迂回の過程が学修を前に進める重要な契機となります。

本学部におけるこの奨学金は、立命館大学+R 学部奨学金規程に定める「優れた成果をあげたと認められる学生を励ます」という趣旨に基づき、こうした局面において得られた知見を踏まえ、視点や方法を更新し、次の制作・実践へ具体的に展開している学生を支援するものとします。

つまり、この奨学金では、「うまくいかなかった経験」を次の創造の契機として実践した取り組みを評価します。ただし、「うまくいかなかった経験」それ自体を目的化するものではなく、学修の記録や試行の履歴等の根拠資料により確認できる学びの更新と、その更新が次の制作・実践へ具体的に繋がっている取り組みを優れた学修成果として認定します。

以上